



◆つるし雛展

申込不要

市内の各地区コミュニティの皆さんが、地区ごとに趣向を凝らした華やかな‘つるし雛’の数々を図書館で特別展示します。展示される‘つるし雛’は、市民文化センターで開催された「つるし雛コンテスト」の参加作品です。

期間 1月9日(土)～1月17日(日) 会場 4階展示ホール



◆「富士山の日」協賛イベント

申込不要

<写真展>

富士山  和田賢一 美と本

期間 2月20日(土)～3月13日(日)

※月曜日及び3/8(火)～10(木)は休館

会場 4階展示ホール



「朝焼けの富士」和田 賢一氏 撮影

✿ ギャラリー映像トーク「富士山×アート×本」

本展示を手がけたフォトムービー・エッセイストの

和田 賢一氏による、日英バイリンガル解説を行います。

日時 3月5日(土) 15:00～16:00

会場 4階 展示ホール及び第3講座室 (定員50人・当日先着順)

Kenichi WADA
Mt.Fuji | Photo Movie Exhibition
Fuji-san × Art × Book

Feb 20 - Mar 13, 2016

Location: Numazu City Library 4th Floor
9-1, Sanmai-bashi, Numazu city, 410-8533

OPEN: 9:30 AM - 6:30 PM
(Fri - 9 PM / Sat & Sun - 5 PM)
Closed : Mon / Mar 8 - 10

✿ Bilingual Events ✿

1. DVD Movie: Feb 23 2:00-3:05 PM
2. Movie Presentation: Mar 05 3-4 PM

<DVD上映会>

日時 2月23日(火・富士山の日) 14:00～16:30

会場 4階視聴覚ホール (定員200人・当日先着順)

作品

14:00～15:05 『日本の美と文学』

風景美と「観る」文化・文学について、本作品の制作者・和田賢一氏が映像と共に解説します。(65分 ✿ 日英バイリンガル表記)

15:15～16:30 『あらしのよるに ～ひみつのともだち～ 2』

オオカミとヤギの不思議な友情から生まれる感動ストーリー。

(アニメ・75分)

◎いずれも入場無料です。どなたでもどうぞ。

◎広報ぬまづ・館内ポスター・チラシ等もあわせてご覧ください。

◎駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

★Admission Free★

図書館カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		


開館時間 火・水・木 9:30～18:30
金 9:30～21:00
土・日・祝・振休 9:30～17:00

■...休館日

3月8日(火)～10日(木)は、特別整理期間のため休館いたします。

新着図書のご案内

新着図書の中から一部をご紹介します。
また、図書館ホームページや館内の検索用
パソコンでも見ることができます。

沼津市立図書館 検索 

【一般書】

★ 世界史の図式	岩崎 育夫／著	講談社
★ 帝国議会<戦前民主主義>の五七年	村瀬 信一／著	講談社
★ 発達がわかれば保育ができる！	川原 佐公／著	ひかりのくに
★ 生涯を賭けるテーマをいかに選ぶか	最相 葉月／著	ポプラ社
★ 住まいの思考図鑑	佐川 旭／著	エクスナレッジ
★ 子どもを夢中にさせる魔法の朗読法	山田 敦子 村上 里和／著	日東書院本社
★ 文学はなぜ必要か	古橋 信孝／著	笠間書院
★ 墓標なき街	逢坂 剛／著	集英社
★ ロゴスの市	乙川 優三郎／著	徳間書店
★ 冬の光	篠田 節子／著	文藝春秋
★ カールの降誕祭	フェルディナント・フォン・シーラッハ／著 酒寄進一／訳	東京創元社

【児童書】

☆ ヘルシーせんたいダイズレンジャー	やぎ たみこ／作	講談社
☆ ノラネコぐんだん おすしやさん	工藤 ノリコ／著	白泉社
☆ 子どもばやしのお正月	さげさか のりこ／作	福音館書店
☆ 音楽室の日曜日 歌え！オルガンちゃん	村上 しいこ／作 田中 六大／絵	ポプラ社
☆ なるほど！お金のはなし	マーティン・ジェンキンス／文 きたむら さとし／絵	BL出版

雑誌スポンサーになってくださる事業者の皆様、お待ちしております

平成27年9月から『雑誌スポンサー制度』による雑誌の提供が始まりました。

当初2事業者3雑誌からスタートしましたが、その後、本制度に賛同される多数の事業者様から

の応募を受けて、これまでに8事業者、10雑誌のスポンサーをいただけるまでになりました。

今後も、本制度の趣旨をご理解の上、事業者様のご協力をいただけますようお願いいたします。

現在、スポンサー契約をされている事業者様及び雑誌は次のとおりです。

・ぴあの倶楽部	月刊クーヨン	月刊ピアノ
・(株)日専連ソニック	ESSE	
・ALSOK沼津支社	クロワッサン	
・(株)フヂイ	日経トレンディ	
・協同組合沼津商連会館	週刊文春	オレンジページ
・大手町会館	婦人公論	
・ワシントン靴店	旅の手帖	
・エトワール和光	婦人之友	

※提供順

たのしかったね!

おはなしフェスティバル

去る12月12日土曜日、恒例のおはなしフェスティバルが開催されました。
リサイクル工作や、読み聞かせボランティアさんたちによるおはなしを楽しみました。
多数のご参加、ありがとうございました。



楽しいおはなしが
いっぱい聞けました!

工作は、リサイクル
バッグを作りました



おはなし会プログラム

- ・てぶくろ人形のおはなし
- ・てあそび「もうすぐクリスマス」
- ・ちいさなおはなし「おいしいケーキ」
- ・パネルシアター
「おおきなぶたさん、ちいさなぶたさん」
(あかずきんちゃん)
- ・番ねずみのヤカちゃん
(アンの部屋)
- ・おおきくなったらなにになる?
- ・かにかにでははれ
(グループあおむし)
- ・にゃーご
- ・こびとのくつや
(おはなしふくろう)

特集コーナーの紹介

一般

JAPONISM～日本文化特集～

近年、諸外国では“ニッポン”がブーム。日本独自の
すばらしい文化を今一度見つめ直してみませんか?

2階

特集「富士山」(2/4～)

2月23日は「富士山の日」です。
写真集や図録でひと味違う富士山を
お楽しみください。



児童

うんち・おしっこ・おなら! ～じぶんのからだを見つめてみよう

子どもたちはなぜか、「うんち」「おなら」が大好き!
明るくわらってじょうぶなからだをめざそう!

AV

今年の干支「さる・サル・猿」と 「富士山」特集

今年の干支の申(さる)にちなんだ特集と、「富士山の日」
に合わせた“富士山”の色々な映像を特集します。

「おはなしの会」のお知らせ

…毎週土曜日・第三日曜日午後2時から

おはなしふくろう

1月30日(土)
2月 6日(土)
3月 5日(土)

アンの部屋

1月 9日(土)
2月13日(土)
3月12日(土)

ラディッシュ

1月16日(土)
2月20日(土)
3月19日(土)

グループあおむし

1月23日(土)
2月27日(土)
3月26日(土)

あかずきんちゃん

1月17日(日)
2月21日(日)
3月20日(日)



沼津市 X 戸田村 合併10周年 戸田

第3回 (全4回)

アメリカの「ペリー来航」だけでなく、ロシアの黒船による「もう一つの開国」の物語が戸田にあったことをご存知でしょうか？ 第3回目は、ロシアの使節船ディアナ号沈没と戸田村についてご紹介していきます。



今から 150 年ほど前、日本近海には通商をせまる黒船が次々と来航し、緊迫した空気を漂わせていました。そのさなか、津波を伴った大地震が東海地方沿岸部を襲い、下田に停泊していたプチャーチン提督率いるロシア外交使節団のディアナ号が津波にのまれ大破してしまいました。

幕府に修理を願い出たプチャーチンですが、どこを修理港とするかが問題でした。ロシア側の要望は日本近海を往航する外国船に見つからない場所であること、日本側としては江戸や東海道から離れていることが条件だったからです。やっとの思いで見つけ出した戸田の港は、三方を山に囲まれ、波穏やか、湾を抱きかかえるように突き出た御浜岬が外洋を遮り、他国に見つからずに作業するにはうってつけの場所でした。

港が決まりようやく修理を許可されたプチャーチン一行は西伊豆の戸田村に向かいますが、今度は暴風雨に遭い、とうとう沈没してしまいます。プチャーチンは日露修好条約締結という使命に加え、異国での代用船の建造に取り組みねばならなくなりました。一方、幕府も黒船の来航に対処するため洋式外洋船の建造技術を求めているところでしたのでロシア側からの代用船建造の申し出は日本側にとってもよい機会だったのです。

鎖国時代の日本において、初めて洋式帆船の造船に取り組む日露共同プロジェクトが始まり、現場の監督を菰山代官であった江川太郎左衛門が受け持つことになりました。ロシア人乗組員約*500人、戸田村および近隣の船大工、通訳、目付け役人など総勢 800 人余りの人々が集結し国際社会が突如できたことで、人口約 3,000 の小さな村がにわかに騒がしくなりました。

造船用資材は沼津の千本松原の松が伐り出され、狩野川河口から船で戸田村へ運ばれました。日本の船大工たちの、設計図から見よう見真似で造っていく知恵と技術にロシア人は感嘆し、現場第一主義で良いプランや使い勝手の良い道具は直ちに採用する合理的なロシアの流儀に日本の職人は働く意欲を刺激されたといえます。戸田村で造船が進む中、下田では両国が粘り強く激しい談義を交わし、ついに日露和親条約締結にこぎつけました。日露間における最初の国境協定です。

さまざまな困難を乗り越え、洋式外洋船第 1 号は 100 日ほどで出来上がりました。プチャーチンは地元への感謝の意を込め「ヘダ号」と命名しました。ヘダ号の誕生は、日露交渉史上忘れがたい友好の絆を残し、同時に我が国の造船史に大きな一歩を刻みました。建造の中心を担った船大工棟梁たちは最新の技術を高く評価され、幕末・明治期の造船界を牽引する存在となりました。

戸田造船郷土資料博物館

ディアナ号の遺品やヘダ号の建造記録を中心に、幕末時のロシアと旧戸田村の交流について展示しています。

*乗組員の人数、諸説あり

開館：9：00～17：00（入館は16：30）

休館日：水曜日・祝日の翌日・年末年始

入館料：大人 ¥300 ・ 小人 ¥100

住所：静岡県沼津市戸田 2710-1

参考文献 『図説静岡県の歴史』永原 慶二/編
『伊豆と世界史』 桜井 祥行/著
『海にむすぶきずな』清水 達也/著

ほか